



ハーモニー保育園 「トントン・カサカサ音がするよ」

みらい

2023.2

25

一般社団法人 さいたま市私立保育園協会 広報誌

Contents

- 会長年頭あいさつ …P2・3
- 丸山副会長「保育士の配置基準について」…P4 食育部活動報告…P5
- 予算対策部活動報告…P6
- 事務局活動報告／雇用対策部活動報告／未来ほしの子保育園の食育活動…P7
- 定例会 研修会報告／研修部 活動報告…P8・9
- 医療的ケア事業報告書…P10 わくわくがいっぱい…P11
- 調査研究部 アンケート(園長)集計…P12・13 アンケート(保育士)集計…P14・15
- 編集後記…P15 保育園紹介…P16



保育の質の向上を目ざし「不適切な保育」のない園づくりを

一般社団法人さいたま市私立保育園協会 会長 **大野智子**
（おおぞらウィンクルム保育園）



謹んで、新年のご挨拶を申し上げます。

私は、昨年のご挨拶で「災いも3年」などのことわざもごいますが、1日でも早い収束と、日常の回復をただただ願うばかりです。と申し上げましたが、残念ながらいまだ新型コロナウイルスも収まらず、国内では、「第7波」がようやく収まってきたという一方で、ヨーロッパでは再び感染が広がっています。専門家の間では「第8波」への危機感が強まっています。「第8波」を引き起こす可能性がある変異ウィルスは主に2つあると言われていて、1つは、「第7波」を引き起こしたものと同じ「B.A.5」による感染拡大と、もう1つは、海外から新たな変異ウィルスが流入し感染が拡大する。感染した場合の重症度が大きく変わるとは考えにくいものの、感染力が高まることや、欧米などで広がるのとは同時に日本国内でも広がる恐れがあることに注意

が必要だとしています。今後も引き続き、①手指の正しい手洗い・消毒 ②屋内で人と近い距離で会話する場合などでは、マスクの着用 ③換気の徹底など、密を避ける対策ならびに個々の体調管理の徹底を今後も続けて欲しいと思います。

児童虐待事件 「不適切な保育」のない施設に

昨年を振り返り、まずは皆様の脳裏には、令和4年11月に公表された、静岡県県の認可保育園で起きた、一歳児を受け持っていた3人の保育士による、園児虐待事件は、特に印象に残っているのではないのでしょうか？私自身、あの事件を知り、自分の目、耳を疑いました。まだ、自分の口で十分に表現することのできない小さな子どもに対して、本来保育者は子どもの気持ちに寄り添い、その子どもが言いたい、伝え

たいと思っていることを汲み取って、代弁してあげること、子どもは言葉を覚えたり、保育者との信頼関係を築き、心が育っていく最も大切な時期に、虐待という行為によって、心に傷を持つてしまったと考えると、胸が痛みます。さらに驚いたのは、園は10月下旬に、保育士全員に問題を口外しないよう求め、誓約書を書かせたとの事です。この保育園では、6月から7月に内部通報を受けていたにもかかわらず、市や警察に知らせず、11月末に地元紙が報じるまで公表しなかったことも問題です。今回の事件を聞いて、他にも、不適切な保育は全国の施設で相次いでいます。厚生省によると、子どもへの暴言や乱暴に関りなどの「不適切な保育」は、2019年度に345件もありました。保育者の仕事は、何かと多忙であり、コロナ禍等によりさらに業務が増えているのは事実ですが、どんな状況であっても、子どもの人格を尊

重することは保育に携わる全ての人たちの責務です。保育士同士が日々の保育を振り返り、改善策を検討することも大切です。また、理事長・施設長等、事業の拡大ばかりに趣きを置くのではなく、保育現場をしつかりと把握し、子どもたちが安心して過ごせる環境を作ること、理事長・施設長としての責務の一つです。今一度、各園内で「不適切な保育」が行われないような体制づくり並びに早期発見の仕組みの見直しを、各園で行っていただきたいと思っています。施設だけでなく、家庭においても虐待が行われています。児童虐待は、次の4つに分けられます。

- 1 身体的虐待：殴る、蹴る、やけどを負わせる、溺れさせる、家にいないなど
- 2 心理的虐待：「死ぬ」などの暴言を浴びせる、兄弟間で明らかに差別をする、無視、夫婦間などの暴力を見
- 3 性的虐待：わいせつな行為をする、性器や性交を見せる、アダルトビデオなどのポルノを見せる、など
- 4 ネグレクト：食事を与えない、家を不衛生にする、世話をしない、学校に行かせない、夜間児童だけにする、など

厚生労働省は、昨年春に「不適切な保育」の対応に関する手引きを作成し、余裕のある保育体制を施設に求めています。しかし、現場だけの努力には限界があります。保育士1人が担当する園児数は欧米諸国に比べて多く、多忙さは長く問題になっており、新型コロナウイルス禍が拍車をかけています。こうした保育士の配置基準の見直しや待遇改善など、国や自治体は構造的な課題にも取り組んで欲しいと思います。昨年5月に、「さいたま市保育フォーラム」も設立され、地元選出の国会議員、県議会議員、市議会議員の先生方とも連携し、子どもが健やかに生まれ、育ち育てあうことができるさいたま市を目指して行きたいと思っておりますので、ご理解・ご賛同を賜り、積極的なご参画をこの場を借りてお願い申し上げます。

子どもたちのことを最優先に

今年が卯年です。飛躍と向上の年が期待できると言われております。昨年末までの様々なことに区切りがつき、次

へと向かって明るく広がっていくことでしょう。過去の自分を飛び越えて、自己研鑽をし、良い一年にしていきたいと思います。

最後に、皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、簡単ではございますが、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



食育部 活動報告

安全な保育園給食の提供ならびに、子どもたちが安心して美味しい給食を摂取することができるように、今年度も食育部では様々な講習会を企画開催いたしました。新型コロナウイルスの感染拡大により開催を中止したものもありましたが、オンラインを活用しながら多くの職員の皆様へ学びの場を提供することができました。講習会へご参加いただきました先生方には食育部員一同心より御礼申し上げます。

①「保育所等における食事中の事故防止・衛生管理について」 (現地16名・オンライン55名参加)

～ハイブリット型研修会の開催～ ※食事中の窒息事故を防ぐために多くのことを学び得ました。

日時: 6月17日(金) 午後2時から午後4時30分まで

場所: 子ども家庭総合センター オープンスタジオ

講師: さいたま市保育課 管理栄養士 福島 雅子 氏



②「食物アレルギーについて」 (現地14名・オンライン38名参加)

～ハイブリット型研修会の開催～

※年に一度は食物アレルギーについての学びの場を提供する必要があります。

日時: 11月17日(木) 午後2時から午後4時30分まで

場所: 子ども家庭総合センター オープンスタジオ

講師: さいたま市保育課 管理栄養士 福島 雅子 氏

※最低でも年に一度は食物アレルギーについての学びの場を提供していきます。

③「祭り寿司(薔薇寿司・お花寿司・藤寿司)、茶碗蒸し」

～調理講習会の開催～

日時: 令和5年1月26日(木)

午後2時から午後4時30分まで

場所: 国際学院埼玉短期大学 第一調理実習室

講師: あおぞらウインクム保育園 園長 大野 智子 氏

さいたま市保育課 管理栄養士 福島 雅子 氏

レシピ紹介 ～切干大根のそばめし風チャーハン～

材 料 (1人前)

米..... 30g
水..... 米重量の1.5倍
切干大根(乾燥)..... 4g
人参(みじん切り)..... 10g
ピーマン(色紙切り)..... 5g
豚挽肉..... 10g
中濃ソース..... 5g
塩..... 0.3g
油..... 0.5g

作り方

- ①お米を洗い重量の1.5倍の水で浸水する。
- ②切干大根を水で戻し1～2cmに切る。
- ③鍋に油を敷いて豚挽肉を炒める。
- ④肉に火が通ったら切干大根と人参を炒めソースと塩で味を調え、食材が柔らかくなったら、具と煮汁に分ける。
- ④米を浸水した水分から煮汁分を引き、煮汁を加えて炊飯する。
- ⑤ピーマンは別鍋で色よく炒める。
- ⑥ご飯に炒めた食材とピーマンを混ぜお皿に盛る。



レシピ提供: あおぞら西保育園

保育士の配置基準について

さいたま市私立保育園協会 副会長

浦和ひなどり保育園 丸山 和彦

日本の保育士配置基準の諸外国との比較

国名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
日本	3:1	6:1	6:1	20:1	30:1	30:1
イングランド	3:1	3:1	4:1	13:1	13:1	13:1
スウェーデン	1クラス上限14人に職員3人			上限18人に3人		
ニュージーランド	5:1	5:1	1～6人:1、7～20人:2 21～30人:3、31～40人:4			
(最上位)	横浜賀市	新潟市	尾張旭市・岡崎市等	戸田市	富士見市	松戸市
自治体基準	2.57:1	3:1	5:1	12:1	15:1	20:1

愛知保育団体連絡協議会 HP より

保育士配置基準の変遷

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
1948年	10:1					
1962年						
1964年	8:1					
1965年						
1967年			30:1			
1969年	6:1		20:1			
1998年	3:1					
2022年						

副会長、企画担当の丸山です。今回は、前会長の剣持先生からのご指名があり、我々保育業界に所属する人間にとって、最も頭の痛い課題の一つとも言える「保育士の配置基準」の問題について、私見を述べさせていただきます。左記に「愛知保育団体連絡協議会」のHPより拝借した2つの図を示させて頂きましたが、まずはこちらをご覧ください。この図を見ると怒りや虚しさがこみ上がる。

保育関係者の方も多いのではないのでしょうか。特に4、5歳児の配置基準については敗戦直後の極めて貧しい頃に定められてから一度も改訂されることなく何と74年!!もの間放置され続け、自治体によっては少し加配はあるようですが、他の先進諸国と比べても極めて厳しい状況となっていることが見て取れます。それに加え、ご存知の通り日本の保育では面積基準も貧しく、幼児は一人当たり1・2畳(1・98平方メートル)という基準で、雨が降って屋外に出れなくなると、途端にすし詰め状態で大騒ぎになってしまうような保育室が多いのが現状ではないでしょうか。

また保育サービスという名の下で、保護者の長い就労時間を支えるため、他の先進国と比較すると超長時間と言われる、延長保育も含めると約12時間開所という保育時間も、日本の保育者が疲弊する大きな要因の一つでしょう。こうした先進国と言うには憚られるような貧しい人的・物的な保育の環境が、数ある事故などが起こる根本的な原因の一つとなり、安心、安全な保育の提供に暗い影を落とし続けています。また子どもの数が多く職員の声が枯れるのは職業病といった声も多く聞かれ、トイレに行くこともためらうほどの忙しさや責任の重さといった厳しい労働環境が、保育士不足の現状に拍車をかけています。

こうした、そもそものが極めて脆弱な基盤の中で、近年では追い打ちをかけるように、支援や配慮が必要な子や保護者の増加だったり、保育者の人手不足などの問題が重なり、更にはコロナ過での業務量の増大があり、保育の現場は疲弊し続けているのではないのでしょうか。大人の都合で「労働力を確保する為、とにかく待機児を減らせればそれで良い!」という量の拡充の議論が最優先で、子どもや保育

者の人権の観点、そして次世代を担う子ども達を如何に豊かに育んでいくかという保育の質の議論が後回しにされ続けてしまった現状ですが、少子化やコロナ禍を通して待機児童数が減りつつある昨今、そろそろ本気で見直さなければいけない時期に来ていると強く感じています。

ひるがえって近年では世界的に乳幼児期の体験がむしろ高等教育以上に、人生に大きく影響を及ぼすであろうとの研究成果から、OECDの「スターティング・ストロング」という言葉にも表わされている通り、質の高い乳幼児教育の必要性が言われてきています。そこで、各国では保護者の就労支援という側面だけでなく、子どもの将来を見据えた人材育成や家庭間格差の是正という、国の成長戦略としても質の高い乳幼児教育のシステムを構築しようとする姿勢が伺えます。我が国でもこうした背景を受けて、2017年3月に保育所保育指針が10年ぶりに大幅に改定が成されましたが、いくらこうした崇高な目標を掲げても保育現場に余力が無ければ絵にかいた餅になることは言うまでもありません。

保育者がもう少し余裕を持って子ども一人ひとりの発達に丁寧に寄り添い、子どもとの対話を通して生活の中にちりばめられている学びを、共に楽しみながら深めていけるような保育。こうした質の高い保育実践を作り上げていく為に、必要となる保育の基準とは、改めてどのようなものなのでしょう。

多様性を認め合い、一人ひとりのウェルビーイングを目指すような社会の土台を作るためにも、改めて我々保育者が実践を通して理論武装しながら、地域社会に各基準の引き上げの必要性を諦めずに訴えかけていきたいと思います。

事務局 活動報告

コロナ禍が続いている今年度も、リモートまたはハイブリッドでの定例会・研修会の開催の準備・運営をまいりました。理事会役員との連絡調整はもとより、各部の活動の情報発信、保育課、幼児政策課、のびのび安心子育て課との連絡調整、さらに保育課とは定期的に安心安全勉強会を行ってまいりました。また、今年度は新たに保育フォーラムの発足、保育士等キャリアアップ研修事業の開始など多岐にわたる活動が増え、新たに2人の事務員を迎えながら、日々運営のお手伝いをさせていただいております。

昨年リニューアルしたホームページには、会員専用ページがあり、実施した研修の資料が見られるようになっております。こちらからも引き続きぜひご活用ください。

来年度も会員園の皆さんにとって、つながりが感じられるような会になるよう、努めていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

雇用対策部 活動報告

今年度も昨年度に引き続き、4～7月の期間に埼玉福祉保育医療専門学校との交流の環境で、出前授業を行いました。

現場の生の声を聴く授業は学生から好評で、園見学するよりも園の事が分かって良いとの事で、授業を行った園様への就職に繋がってきている状況です。

また、9/10と11/6にはあいぱれっとにて就職フェアを行いました。

両日、参加園様には沢山ご協力を頂きありがとうございました。

9/10のフェアの反省を活かし、11/6は会場のレイアウト変更や手作り玩具・おすすめの絵本のコーナーを設け、来場者に楽しんでいただける場所になったのではないかと思います。

これからますます市私立保育園協会の魅力を発信しながら、有意義なイベントを作っていければと思うので、引き続きご協力のほどよろしくお願い致します。



未来ほしの子保育園の食育活動

☆味噌づくり(5月)

- * 1日目 大豆を洗い、一晩水に漬けておく。
- * 2日目 ①茹でて柔らかくなった大豆を、手で潰す。
- ②大豆をビニール袋に入れ タオルでくるみ、体重をかけ足で潰す。
- ③潰した大豆に、塩と麴を入れてよく混ぜ、味噌玉を作る。
- ④空気が入らない様、味噌玉を容器に入れて、ねかせる。

* 大豆を潰すのに時間が掛かりましたが、皆で順番に行い、力を合わせて頑張りました！
3月頃には、この味噌を使って、豚汁パーティーを行う予定です。

☆イワシの手開き(10月・11月)

- * 毎年4・5歳児が行っている活動です。
- ①イワシの頭を取る。
- ②肛門の辺りから指を入れ、お腹を裂いて内臓を取り除く。
- ③中骨の上面を指でなぞりながら、尾の付け根までお腹を開く。
- ④右手でイワシの身を押しさえ、左手で中骨を引き上げるようにして、身からはがす。
- * 開いた身を、すり鉢で潰していき、つみれを作り、つみれ汁にして食べました。



この他にも、下記の様な活動を行っています。

- ・梅干しづくり
- ・おはぎ
- ・ホットケーキ
- ・スイートポテト
- ・ピラフ
- ・赤じそジュース
- ・生地からピザづくり
- ・恵方巻
- ・サンドイッチ
- ・アイスクリーム
- ・ハンバーグ
- ・クレープ等

予算対策部 活動報告

今年度も例年同様に要望書を提出致しました。今年度の要望骨子は以下の通りです。

- 子どもの権利保障に関する事項
- 保育の質の向上に関する事項
- 待機児解消に関する事項
- 保育行政に関する事項
- 保育士の処遇改善に関する事項
- その他
- 借地料に関する事項

基本的な要望骨子に変更はありません。来年度より処遇改善加算Ⅱの研修受講要件が少しずつ必須になる予定です。研修について計画的に受講できるよう、進めるようにして下さい。

【加算Ⅱ】技能・経験に応じた処遇改善等加算Ⅱの仕組み

1 概要

- ・副主任保育士・専門リーダー（月額4万円の処遇改善）・職務分野別リーダー・若手リーダー（月額5万円の処遇改善）等を設けることにより、キャリアパスの仕組みを構築し、保育士等の処遇改善に取り組む施設事業所に対して、キャリアアップによる処遇改善に要する費用に係る定価価格上乗率を創設。

2 要件

- ・加算額を確実に賃金改善に充てるため、賃金改善計画の策定及び実績報告を行う（処遇改善等加算Ⅱ同様）
- ・処遇改善の対象者が以下の基準を満たすものとなっていること

＜月額4万円の処遇改善の対象者＞	＜月額5万円の処遇改善の対象者＞
・副主任保育士等の職位の発令・職務命令	・職務分野別リーダー等の発令・職務命令
・経験年数が概ね7年以上	・経験年数が概ね3年以上
・4分野以上（計60時間以上）の研修を修了していること（幼稚園及び認定こども園職員にあっては60時間以上の研修を修了していること）	・担当分野（15時間以上）の研修を修了していること（幼稚園及び認定こども園職員にあっては15時間以上の研修を修了していること）

※ 経験年数は「概ね」であり、各施設の状況を踏まえて決めることが可能

※ 加算に係る研修修了要件は副主任保育士等については令和5年度、職務分野別リーダーについては令和6年度から適用する。その際、副主任保育士等に求める研修修了数は、令和5年度は1分野とし、令和6年度以降、毎年度1分野ずつ引き上げる。

- ・職務手当を含む月給により賃金改善が行われていること

3 職員への配分方法

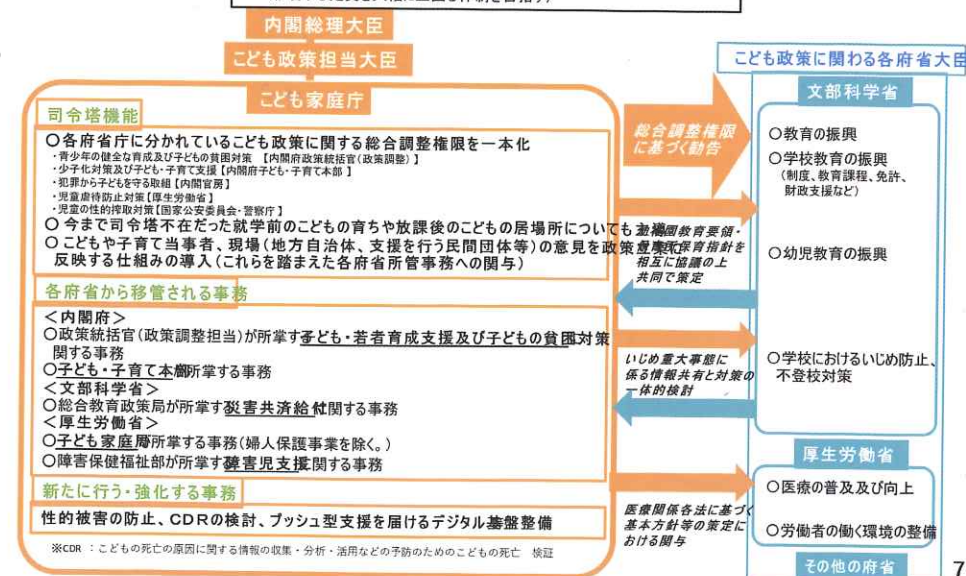
- ・月額4万円又は月額5万円加算対象人数分（園長・主任保育士等を除いた職員の概ね1/3又は1/5）を支給
- ・副主任保育士等への配分は、実際に月額4万円の賃金改善を行う職員数以上確保した上で、副主任保育士等、職務分野別リーダー等に配分（月額5万円～4万円未満）
- ・職務分野別リーダー等への配分は加算対象人数以上確保（月額5万円～副主任保育士等の最低額）
- ・法人内の他の施設の職員の賃金改善に充当可（令和4年度までの時限措置。加算額20%の範囲内）

来年度よりこども家庭庁が設置され、就学前の子ども達の行政管轄の変更が行われていきます。こちらについても概要を掲載します。

こども家庭庁の組織・事務・権限について(イメージ)

(参考1)

- 内閣府の外局として設置
- 令和5年4月1日に設置
- 内部組織は、司令塔部門、政策部門、支援部門の3部門体制（移管する定員を大幅に上回る体制を目指す）



引き続き、コロナ禍様々な対応に迫られる状況ではありますが、皆様のご意見受けながら、保育行政についての予算対策活動を続けて参ります。

- 保育者という仕事は将来AIによって代替されない。個人差や感情がありAIの検索機能が役に立たない。マニュアル化が難しい。
- 支援が必要な子ども、子どもの児童数は減少傾向にあるが、特別支援学校の生徒や特別支援学級の生徒は増えている。
- 100人の子どもが生まれると4人が特別支援の対象になる。発達障がいの子どもは、6.5%なので、20人いると1人か2人はいらる。先天性色覚障がいの子は、男の子が20人に1人はいらる。
- 障害のある子と障害のない子と分けるのは難しくなっている。どの子にもその気質があり、グラデーションのようなもので、多く持っている子と少しの子と、環境との関係が大きく、環境の作り方による。
- 保育園での環境としては、指示はシンプルで、余計な刺激

はないほうがいい。

- 保護者の気質としては、父親が10人いると内1人は発達障害系で、集団には馴染まず、我が道を行く傾向がある。
- 最近の保護者は、自分の親や近所の先輩に子育てについて聞くというよりも、SNSで自分と同じような人と都合いい情報を交換し、以前のように先生に相談しようとするのではなく、先生に言うておかなくてとは変わってきている。
- 指導で困ったら、子どもの良さを本人に気づかせてあげて、子ども個々の、好きなこと、得意なこと、関心があることを、うまく園の活動の中に入れてあげる。



12月8日(木) だれもがくつろげる「みんなの居場所」作り ～様々な欲求を満たせる良好な人間関係を育む方法～

教育学博士 星野優美子氏

- 幸せな人生の秘訣、身近で大切な「人間関係」が良好なこと、人間関係が良好でないと欲求が満たされない。
- 五つの心の栄養(基本的欲求=愛・力・自由・楽しみ・生存)が満たされているとハッピーになる。バランスよく満たすことが大切です。
- 上質世界に入っているものは欲求が充足していて気分がよくなる。心の栄養(基本的欲求)を満たす存在に保育園になるといい。そのためにはセルフコントロールを身に着けること。
- 人間関係を充実して、共同体験を重ね、会話・コミュニケーションが弾む関係を作る。

令和4年度 定例会 研修会報告

6月16日(木) 「保育施設長に求められる安全体制を、制度と事故事例からひも解く」 株式会社ピスタ 細萱大祐氏

- プール活動・水遊びの際に注意すべきポイントに、監視者は監視に専念する。監視エリア全域をくまなく監視する。
- 2016.3.31内閣府より、事故防止のためのガイドラインが発表される。
- ガイドラインで求められている監視業務に専念する人を配置することは、施設長に求められる安全体制であることから、以前の処分とは異なり、プール事故が厳しい処分となった。

8月18日(木) 「雨災害に備えた休園基準について」 株式会社ピスタ 細萱大祐氏

1 災害から見た保育施設

- 保育施設とは 園児を集団でお預かりする施設
- 園児は、ひとりで避難ができない災害弱者
- 集団で預かっており、リスクが集中
- 保育施設 → 災害弱者が集中→災害に弱い

2 災害の種類

- 予想できる災害(進行型災害) 台風を代表する災害
- 予想できない災害(突発型災害) → 地震

3 タイムライン防災の考え方

災害時に発生する状況をあらかじめ想定し「いつ」「誰が」「何をするか」を時系列で整理した計画

4 雨災害における理想的なタイムライン

- 雨が降る前に避難完了→保育施設の休園
- 事前に休園になるかもしれないと知らせておく

5 休園に向けての弊害

- 社会福祉事業として、出来る限り開園しておくべき
- 行政が休園してよいと言ってこない
- 自園だけ休園すると保護者からの反発を招く

6 休園時の保護者の心理

- 保育施設に預けておけば安全
- 急に休園と言われても困る
- ※ 重要事項説明書に災害時の休園を明記
- 不明確な休園基準では納得しない
- ※ 市私立保育園協会が休園推奨の判断をする

7 今後の運用方法

- さいたま市私立保育園協会から休園の推奨が来る
- 保護者に休園のお知らせを出す

8月18日(木) 「コミュニケーション+心を守る」 NPO法人 保育の安全研究・教育センター 代表理事 掛札逸美氏

- 未就学児施設にはゴールが、はっきりしていないが、未就学施設にはものすごく大きな「日々の目標」がある、死亡事故を起こさないという目標です。そのためには、コミュニケーションが必要となる。
- 人からなんやかんやと、人間は言われているうちが華、言われなくなったらお終り。言われ続けるのは難しい、努力が必要、言われ続けるには、何か言われたら、ありがとう、やってみようという。保育には完成形はない。保育士も完璧はない。
- 何か言われたら、役立つことは受止めて、感情的に反応すると受け止められない。受け止めるだけ受け止めて、感情は受けられない。

- 嫌味や理不尽なことを言っている親に対しては、こういうご意見がありますが、園としてはこういう理由で、無理で、出来ません。出来ないことはできないと断る。その際の対応としては、関係するところに、苦情の情報を先に話しておくこと。例えば、台風が直撃するときも、事前に休園になることがあると情報を流しておくトラブルにならない。

- 保育への質問は、直ぐに、即答しないで、翌日とか日を改めて答えたほうがいい。他の先生に先に聞いていて、試されているかもしれないから。



10月13日(木) 「園児ロストについて」 株式会社ピスタ 細萱大祐氏

- 園児ロストとは、園児の置き去り、担当園児を監視エリア外に出してしまうことで、その園児ロストのヒューマンエラー対策としては人数確認が必要であり。適切な人数確認をするためには登園時の人数管理は必要不可欠である。
- 園児の見守り方法は、声の距離では足りないの、手の距離、目の距離の範囲に入れるように、職員の配置や職員の立ち位置を前もって、話し合っておく必要がある。



研修部活動報告

自然体験講座(北本自然学習センター)

①8月9日(火)

参加者:公立園 9名 私立園 7名
合計16名

②11月13日(火)

参加者:公立園 10名 私立園 4名
合計14名

参加者の感想

- たくさんの生きものや植物に触れられて持ち方も教えていただき良い経験になりました。
- 子どもたちにせみや虫を見せてあげたいと思いました。
- カラスうり・カマキリ・くも・スズメバチ・蛇・危険な生き物など細かく教えてくださり良かった。
- 虫や葉っぱなど実物を見ながらの散歩が勉強になりワクワクしました。
- お散歩がとても楽しかったです。大人が楽しい経験を子どもにもさせてあげたいです。



主任研修 (あいぱれっと内オープンスタジオ)

①11月29日(木) 参加者:37名

内容:「あたたかい人間関係を育むリードマネージメント」
講師:教育学博士 選択理論心理士 PCMR® 認定トレーナー 星野 優美子 先生

- おおいに満足、満足(5段階評価)が97%
 - 長時間であったが、ワーク、遊びもあり、楽しく参加することができた
 - 選択理論をはじめて学んだのでとても参考になった
 - 園や私生活でも実践できることが多数あった
- 等々良好な感想が多く、とても有意義な研修であった。

参加者の感想

保健衛生情報交流会 (あいぱれっと内オープンスタジオ)

①12月6日(火) 参加者:29名

内容:「発達が気になる子どもの理解と対応」
講師:さいたま市総合療育センターひまわり学園 作業療法士 小関 桂子 先生

- おおいに満足、満足(5段階評価)97%
- 子どもの行動の背景を知り納得ができた
- 感覚の未熟さについて実際に体験をした事でよくわかった
- 困り感のある子ども達にもっと寄り添えるような自信が持てた
- 困った行動について目がいつてもしょうが、背景に働きかける事の大切さを知った

参加者の感想



浦和ひなどり保育園 どんぐり山でのアート活動



竹に大きな模造紙を貼付け、大胆なアート活動を行いました。

東武第二保育園 絵本大好き!!～図書室訪問～



たくさんの絵本を前に大喜びの子どもたち。「この本知ってる!」「これ、読みたい!」と絵本探しに夢中でした。1、2年生による読み聞かせ等、交流を楽しんでいます。

中浦和たいよう保育園 風船が降ってきた



室内での風船遊び。上から降ってくる風船を寝転がってキャッチ!「もう一回!」と何度も繰り返し楽しむ姿が見られました。雨の日でも元気いっぱい体を動かして遊べて大満足の子どもたちでした。



いちご南保育園 柿もぎ
園庭にある柿が大きくなったので、年長クラスのみんなで柿もぎをして美味しくいただきました。

ルミエール保育園 園庭の柿を収穫



園庭の柿の木に、今年はたくさん柿が生まれました。みんな大喜びで収穫しました。

上木崎保育所 収穫祭



みんなで育てて、ちぎって、いただきます!

たじま絆保育園 曲に合わせて上手にポーズが決まりました!



月に一度のダンス教室の日は身体全体を使ってノリノリで踊れるので、みんな楽しみにしています。

エンゼル保育園 シャボン玉



キャラクター大好きなしゃぼん玉で遊んだよ。お願い!消えないで

令和4年度 医療的ケア事業報告書

いちご南保育園

医療的ケア事業勉強会が開催されて2年目となりました。今年度は、新規の方と昨年度に引き続きの勉強会参加希望の方(医療的ケア事業に興味関心がある・事業開始をされている・検討されている)に対して、計5回の勉強会を開催しました。医療的ケア事業を運営しているいちご南保育園、いちごの森保育園での医療的ケア児の事例を通して医療的ケア児の理解や推進につなげていく目的で開催しました。主には、医療的ケア児のケアと管理、また保育園活動においてのインクルーシブ教育、行事対応などです。様々な事例や支援方法、安全管理危機管理、保育園希望の見学から入園まで、行政との連携、入園に向けての書類の整備、入園後の流れや対応まで実際の保育活動や動画なども流しながら、具体的に理解を深めることができるよう心掛けてきました。

また、看護師が実際に園児に触れ合い、間近でケアと管理の手技を確認することで、学びに繋がるよう、視察や実習などを行いました。実習の後には、書類を見てもらい、質問や疑問があれば、看護師同士で意見交換するなど、看護師の方の希望を中心に対応を行っています。また、小さな不安やこれはどうしたらよいかな、の時は、ZOOMで気軽に相談できるように対応してきました。少しでも、不安が安心に変わるよう、いつでも寄り添う姿勢が大切だと思います。保育園の園長先生方からも、看護師さんが不安な時は、「いちご南保育園に連絡相談してみたら?」と伝えてみて下さい。

医療的ケアのお子様が、様々な「学び」や「体験」を通してすこやかに育つよう、また、インクルーシブ保育を推進していくため、共に頑張っていきましょう。



会場研修風景

会場を借り、パワーポイントを使用し研修実施。第1回～第5回の研修を実施(ZOOM含む)。行政関係者や園長、看護師、保育士が参加



埼玉医科大学総合医療センター 小児科教授 森脇医師との意見交流会

さいたま市役所会議室において、医療的ケア事業を運営している保育園の園長、看護師より医療的ケア対応についての事例相談、管理やケア対応など、森脇医師からアドバイスや支援方法についてお聞きすることができました。さいたま市保育課の方も参加され、有意義な意見交換会となりました。



他園の看護師実習の受け入れ

当園にて1週間かけて各医療的ケア児のいるクラスに入り、担当看護師のシャドーイングを実施。安全に留意したうえで医療的ケアも実施してもらった。

医療的ケア事業勉強会内容

- 第1回：医療的ケア児とその家族の現状や医療的ケアについての説明(酸素療法、気管切開管理、喀痰吸引、経管栄養、インスリン療法、血糖測定、ストーマ管理、導尿、気管切開・経管栄養の緊急時対応など)
- 第2回：さいたま市保育所等における医療的ケア児の受入れ等に関するガイドライン、医療的ケア児の入園プロセス(R3年度入園不可と判断した事例を含む)、医療的ケア児入園前後に必要な書類等についての説明
- 第3回：医療的ケア児受け入れ体制整備について、立ち上げの際の注意点等、医療的ケア児の成長に伴う医療的ケアの変化(在園中に医ケアがなくなった・増えた事例)かかりつけ医や在宅医との連携(同行や情報共有の実際、指示書等医師の指示、緊急時対応やヒヤリハット事例)について、いちご南保育園・いちごの森保育園看護師よりそれぞれ説明
- 第4回：園内研修の実際(保育士への説明内容と方法)医療的ケアについて子どもたちへの説明(事例を通して)保育活動の様子、保育士との連携(保育計画や活動)医療的ケア児の行事参加について(医療的配慮等)をいちご南保育園・いちごの森保育園看護師からそれぞれ説明
- 第5回：【予定】保護者の実際の声(手紙代読やZOOM配信)
日々の保護者とのかわり(お子さんの様子の伝え方、手術前や休みの際の電話連絡、療育的支援等)医療的ケア児の就学準備について(訪問看護師や学校・保護者との連携)

アンケート(園長)集計

調査研究部

お忙しい中アンケートにご協力ありがとうございました。
集計しましたので、皆さんと共有できたらと思います。



⑤ 今までに一番苦労した経験を教えてください。

- 他の園での経験のある保育士が集まっていたので保育の方向性や細かなやり方のすり合わせが大変
- コロナ禍での行事対応 ●考え方の合わない保護者の子ども同士のトラブルの解決
- 保育士が虐待をしているのではないかと疑われ、保護者と何回も話し合いがもたれたが、精神的な不安を抱えている保護者の方にはなかなか理解してもらうことは難しかった。
- 他の園より転職されてきた保育士が、メンタルの持病を持っていたので、子どもと職員を守ることに力を尽くした。さいたま市内の園である程度の情報共有が出来たらよいと思う。
- 新人の保育士が運動会担当になっているにもかかわらず当日の数日前に突然欠席し、そのまま退職した
- 「〇〇がネックなので辞めます」(実際は辞めない)と退職をおわせてくる職員の対応

⑥ ご自身の有給休暇はどれくらい取れていますか。

- 100%…5 ●60%以上…8 ●30%以上…17 ●10%以下…5

⑦ 職員を採用するにあたり、気を付けていることはありますか

- ある…33 ●特にない…2

『ある』と答えた方はどんな事に気を付けていますか。

- ・コミュニケーションが取れる人…2 ●協調性…3 ●入職の動機…1 ●やる気…2 ●明るさ…3
- ・身だしなみ…1 ●健康…1 ●言葉遣い…2 ●実家から通えるか…1 ●保育理念…2
- ・経験年数のバランス…1 ●精神面の健康…2 ●人間性…6
- ・子どもの関わり方…1 ●他の園も見てほしい…1

⑧ 園児の入所申請受付は各役所のみ対応を希望したい。(重要書類のため)

- はい…27 ●いいえ…6 ●どちらともいえない…2
- 支援課に書類を取りに行ったり届けに行ったり、保育園での対応ができずらい状況にある。全ての書類を役所一本化にしてほしい。紛失等こちらでも責任を常々感じています。

⑨ 入所面接の方法を見直したいですか？

- いいえ…6
- はい…28…
 - ・入所決定者のみの面談希望…23
 - ・所見のあり方の見直し…12
 - ・その他…5
 - ・第一希望者を優先して入園させてほしい
 - ・見学の無い希望者は減点してほしい
 - ・第一希望園の面接だと不公平に感じます。区役所に各園から園長等が出向き決定者を各園聞き取りにすればよい…と思う
 - ・決定前の所見2の方との面談
 - ・所見も各園長により違いがあり、難しく入所前に行く意味があるのかと親に聞かれることもある。希望者が多い園の負担が大きくなるので区役所などの会議室にて当番制でおこなうなど…見直しを希望します

35名の方にご協力いただき、ありがとうございました。

① 職員の関係づくりで気を付けていることや、大変なことはありますか。

- 先生たちの話しを聞くようにし、コミュニケーションを取っている…15
- 職員の思い等を傾聴し関係づくりをしている…6
- 困った時に相談をしたり、助け合えるチームづくりをしている…3
- 仕事内容が偏ることなく、休みの取り方も平等になるように気を付ける…1
- 一日に一度は必ず声をかける…3
- お互いの良いところを認め合えるよう気を付ける…1
- 上下関係のある環境を作らないようにする(話づらさがないよう全員敬語を使う)…2
- 感謝の気持ちや姿勢を常に持つ…1
- 特にありません…2

② 若手の育成のために取り組んでいることはありますか。

- その人に合った園内研修を行う(接遇マナー研修など)…13
- 個々の得意なもので力を発揮してもらい、苦手なことは協力しあう…1
- 新人とベテランの二人組を作り、アドバイスが聞けたり、意見をいえるようにする…2
- 新卒者と園長で交換日記を行う…1 ●指導係や先輩からアドバイスをしてもらう…5
- テクニカルチェックの活用…1 ●育成プランシートの活用…1
- メンター制度の活用…1 ●年に一度面談を行う…1
- 特にありません…2

③ 毎年のクラス編成で悩んだ時、重視していることはなんですか。また、誰と決めていますか。

誰と ●主任…27 ●園長のみ…2 ●副園長…5 ●副主任…3 ●事務長…3 ●各クラスの代表…3

重視 ●本人の希望…3 ●人間関係…21 ●経験…7 ●保育観…1
●スキルアップができる配置…5 ●2〜3年後を見据える…1 ●園児との相性…3
●複数担任1人持ち上がり…2 ●子どもや保護者の対応を任せられるか…1
●不得意な面を補えるか…1 ●男性保育士を同じクラスにしない…1

④ 園長として責任あるポジションにおいて、ご自身のメンタルヘルスマネジメントは、どのようにされていますか。

- 仕事のON/OFFの切り替えをはっきりし週末は仕事をせずリフレッシュする…17
- 自分だけでなく職員皆が幸福感が抱けるようにする…1
- 睡眠をとる…2 ●職員とコミュニケーションをとる…3
- 同業者以外の人との交流…1
- 主任・副主任に少しずつ仕事をおろし、物理的な仕事を減らす…1
- ポジティブなこともネガティブなことも上司や主任に聞いてもらう…1
- 月に一度公認心理士に話を聞いてもらう…1
- 同じ立場の友人と話す…1 ●ポジティブ思考への転換…2
- 特にない…5

⑩ もし、転職をしたらどのような職業につきたいですか。

- 保育園…54 ●無回答…1 ●他業種…52 (事務、販売、福祉系、アパレル、接客業、幼稚園教諭、体育教員、療育、工場、一般企業、ディズニーリゾート)

⑪ 保育園を選ぶ場合どのようなところを重視しますか？また、しましたか？

- 職員の子どもへの表情・対応…56
●家から近く通勤しやすい…49
●園の環境(園庭がある・定員が魅力・清潔感がある・その他)…56
●保育内容…42
●ICT化が進んでいる…5
●その他…3(人間関係、給与)

⑫ 園児の保育時間について、先生方が負担や疑問に思うことはありますか

- 保護者のリフレッシュのための預かり…40
●園児の兄弟の行事や習い事のためお子さんを預ける…27
●その他…26(自粛期間中の利用、体調が悪いお子さんのお預かり、土曜日仕事か分からない保護者の利用)

⑬ ⑫の園児をお預かりする時間について行政に要望があればご記入ください。

- 買い物をしてからお迎えや仕事が休みなのにMAX預けている方がいる
●育休中や平日の固定休での預かりの方が時短とはいえ毎日8時間利用する必要があるか。保護者への対応も必要だが子どもの想いはどうなのでしょう
●仕事が休みでも朝早くから18:00まで預けるので必要な分だけにしてほしい
●保護者支援は理解できるが、きちんと行政が徹底しているところもあれば、保護者の言いなりになっている行政もあるのでそこは不満に思う
●勤務時間(勤務証明書)など必ず確認が取れる方のみ利用にしてほしい
●土曜日は、仕事以外での預かりは制限してほしい
●親との関わりがあまりなく子どもは不安定になる子が多いため、親が休みの際は保育時間を短く設定してほしい
●保護者支援の為、日中は預かるが夕方は早お迎えをお願いしたい
●リフレッシュの時は時間を短くお願いしたい
●子どもの生活リズムを考えると20時までは遅いと思う
●あくまでも保育にかかる時間＝就業のみのお預かりの実現
●嘘について預けている人が多い、勤務証明書を出すシステムにしてほしい
●就業の実態を把握、徹底すべきだと考えます。

103名の方にご協力いただき、ありがとうございました。

編集後記

新型コロナウイルスの濃厚接触者の自宅待機期間が見直されたこと等もあり、新型コロナウイルス感染者数が、10月中旬頃にはかなり少なくなってきました。このままコロナが収束するのかなと思いましたが、11月の初めからまた感染者数が増えてきて、我が保育園でも園児の感染に加え、先生まで感染して、臨時休園・応急保育となりました。コロナウイルスの第8波に入りました。医療非常事態にならないように願っています。そのためにも、手消毒、室内の換気、マスクの着用など基本的な行動をとりましょう。

お蔭様で、広報誌を発行することが出来ました。広報誌「みらい」の発行にはたくさんの皆さまのお力添えを頂き、誠にありがとうございました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。 椎の実保育園 野島

アンケート(保育士)集計 調査研究部

保育士の皆様、日々お忙しい中アンケートへご協力ありがとうございました。集計を致しましたので参考にさせていただけたらと思います。



① あなたは、今の園に入職して何年になりますか。

- 1年未満…17 ●3年以上…31 ●5年以上…50 ●無回答…5

② あなたは、今の園にどのように入職しましたか。

- 自分で探した…48 ●実習をした園に入職した…11
●紹介会社を通して…12 ●学校の先生からすすめられた…11
●その他…23

③ 保育士になって良かったと思う事、やりがいを感じたことはありますか。

- はい…103 ●いいえ…0 ●無回答…2

④ 自分の思う保育が実践できていますか。

- はい…82 ●いいえ…18 ●無回答…2

⑤ 仕事は就業時間内に終わられていますか。

- はい…50 ●いいえ…46 ●無回答…2

⑥ 研修会などに関心を持ち、積極的に参加できていますか。

- はい…70 ●いいえ…30 ●無回答…1

⑦ 今の処遇(給与・休暇など)について満足していますか。

- はい…69 ●いいえ…37 ●無回答…1

⑧ 職員同士の人間関係に悩みはありますか。

- はい…25 ●いいえ…71

⑨ 悩みがあった時、誰に相談しますか。(複数回答可)

- 親…34 ●園長…53 ●主任…43 ●同じ職場の人…73
●学生の時の友人…43 ●恩師…4
●その他…15(夫、姉妹、同業者の友人、恋人)

保・育・園・紹・介



保育園ナチュラル 園長 山田 由里



社会福祉法人自然会は平成26年9月に設立され、平成27年4月に保育園ナチュラル（定員110名）が開園致しました。『自然・ナチュラル』とは、大自然の中で思いっきり遊んで欲しいという願いもありますが、もう一つの意味として、お家に居る時と同じように自然に成長して欲しいという願いも込められています。悪い事をすれば怒られますし、良い事をすれば思いっきり褒める。そんな当たり前の生活が常に保育園内で行われており、みんなが楽しく、安心して通える保育園を目指しています。

また職員一人一人が、常に子どもの事を第一に考え、「子ども達にとって」どうなのかを意識し、プラスの意見を出し合いながら、その時の最適な保育を行い、子ども達と共に変化し、成長し続けられるような保育を心がけています。

園庭も広く常に子どもたちの元気な声が響き渡り、園庭の一角には家庭菜園ができるスペースもあります。5歳児の園児を中心に畑の草むしりから始まり、土を耕し夏野菜の苗を植える。自分たちで水やり等を行い収穫した野菜を食べ、おとまり保育の時に収穫した野菜を自分たちで調理し食べる体験もしています。

また保育園の周りは緑が豊かで、公園もたくさんあり地域の方と触れ合いながら、四季の変化を全身で感じのびのびと過ごしています。卒園しても親子でいつでも「ただいま」と帰って来られる保育園でありたいと思っています。



**第2東浦和
みどり保育園**



園長 礒部 繁男

第2東浦和みどり保育園は社会福祉法人みどり会東浦和みどり保育園の分園として平成27年に定員70名で開園しました。

「丈夫でよく遊べる子ども(体力作り)」 「何でも話し、よく話の聞ける子ども」 「児童の安全保育と良い生活習慣の確立」を保育目標に、園長をはじめ職員全員が同じ思いで保育をしています。

当園の特色でもあるサッカーは、集中力と機敏性を養う事を目的とし、主に4,5歳児クラスを対象に行っています。はじめは中々上手くいかずに手を使ってしまう子もいますが、徐々にルールを覚え、友達と協力し積極的に参加してくれています。サッカー以外でも広々とした人工芝の園庭で体を思い切り動かしたり、砂場で泥遊びをしたりと毎日楽しく過ごしています。

足の親指を使って運動し、脳に刺激を与え、心身共に成長を促す事を目的にリズム運動も行っており、他にも季節ごとの製作や行事にも力を入れています。また、室内遊びの充実や季節の移り変わりを感じられるよう、自然に親しむ事も重視し、戸外遊びも多く取り入れています。当園では年齢に応じた様々な体験を子ども達にさせて、豊かな心や創造力等を養っていく保育を工夫しています。

5歳児クラスになるとそろばんや文字、数字に触れたり、株式会社ECCさんと連携し月2回英語教室を行ったりしています。保護者の方と協力しながら子ども達の無理のないように就学に向けての準備を進めています。

又、保護者の方の負担軽減の為、保育管理アプリ「コドモン」も導入しています。保護者に寄り添い、子ども達の成長と一緒に見守っていただけたらと思っています。



るい保育園 園長 岩下 悦子



るい保育園は平成27年に社会福祉法人祥和会の第3園として開園しました。

子どもは90名定員で今年8年目を迎えます。安心してお子様をお預かりできるよう子どもに寄り添った保育を心がけています。

子ども達はリトミックや英語、太鼓、体操などを行っています。子ども達が楽しんで出来る経験をいっぱいしてもらいたと思います。初めてのことに戸惑いが見られますが、だんだんと出来る事に喜びを感じ、意欲につながり、自信へと変わっていきます。そして保護者の方に見てもらうことで達成感を味わっています。子どもの成長を肌で感じる事が出来、保育士たちも感慨深いです。

お友達との関わり合いの中で嬉しい気持ち、楽しい気持ち、また、悔しい気持ち、悲しい気持ちなど様々な感情に共感できる場所でありたいと考えています。子ども達がどうしたらいいか、どう伝えたらいいかを考えられる子どもにそだってほしい。そのために寄り添いながら相手のことも考えられるように伝えながら日々の保育を大事にして過ごしています。

子ども一人一人が大事な存在だと感じられる保育でありたいとこれからも努力していきたいと思っています。



**西大宮
どんぐり保育園**



園長 永木真理子

社会福祉法人友和会 西大宮どんぐり保育園は、平成28年4月に西大宮駅徒歩1分の駅近に開園致しました。子ども達は園庭から見える電車で歓声をあげたり、癒されたりしています。

保育理念の「一人一人に寄り添い家庭の様に安心できるあたたかい保育」を念頭に、日々の生活は、「たくさん食べて」「のびのび体を動かし」「しっかり食べて」「ぐっすり眠り」「健やかな」「心を育て」「スマイルに」と、快食、快動、快眠の柱に快笑を加え、笑いの絶えない職場の中で伸び伸びと子ども達が成長していけたらと思っています。

自然に触れる事や地域との交流も重視しており、近隣で畑をお借りして草取りや四季折々の野菜を育て収穫し、食するまでに携わった方への感謝をはじめ、卒園式では育てたブロッコリーを花束にし両親へ感謝の気持ちを伝えました。又、近隣の埼玉栄高校コーラス部のコンサートやハロウィン仮装での高齢者施設やスーパーへの行列で交流を深め、沢山の方にお声がけして頂きました。園外保育で地域の方と挨拶を交わすことで、無意識に笑顔になり、笑顔が増えれば気持ちが上向きになり、なんだか幸せな気持ちになります。地域の方々と挨拶を交わし多くの人達との関わりが心の成長に繋がっていくよう、私たち保育士も「快笑」で日々の保育を楽しみながら過ごしたいと思っています。